

～インターンシップ生が考える北海道の課題～

## へき地における医療体制の実情と今後



## 【へき地医療の実情】

北海道は、医療機関がない地域（無医地区）の数が全国で1番多い状況となっています。へき地診療所の数は増加の傾向にありますが、そこで働く医師の数は、1診療所あたり1人という場合が多いことから、医師や看護師が感染力の強いウイルスに感染したことにより診療を行えなくなった場合などは、診療所の機能を維持することが難しくなる可能性があります。



## ドクターヘリの活用

へき地で傷病者が発生した場合、医師や看護師が搭乗したドクターヘリを用いて医療機関へ患者を搬送する場合があります。

状況により、緊急離着陸場で救急隊と患者の受け渡しを行い、そこから治療を開始することで、傷病者の救命や後遺症の軽減等に繋がります。

しかし、積雪期には、使用可能な緊急離着陸場の数は無積雪期の2割程度となるため、年間を通して使用できる緊急離着陸場の設置が求められます。



## 【これからのへき地医療】

人口減少や高齢化などの問題に対応していくために、へき地医療を支える医師や看護師の確保、相談・支援体制のより一層の充実が求められます。



## へき地医療拠点病院

へき地医療拠点病院は、へき地における住民の医療を確保することを目的に、へき地医療支援機構の指導・調整のもと、巡回診療の実施、へき地診療所などへの医師派遣、へき地診療所の医師が休暇を取る際の代替医師派遣などを行っています。

しかし、一部の地域においては、医師不足などの理由により、これらの取組が実施されていない状況もあります。



## この記事はインターンシップ生が作成しました！



道議会では8/31～9/4の5日間で、包括連携協定を締結している大学の学生をインターンシップ生として受け入れました。議会事務局（議会の運営に関する業務を行っている部署）の仕事として、議員から依頼があった資料の作成や委員会の写真撮影などを行いながら、学生自身が考えた**高校生に知ってもらいたい北海道の課題**について、記事を作成してもらいました。皆様のご感想をお待ちしております！

## 道議会へのアクセス

住所：札幌市中央区北2条西6丁目  
地下鉄さっぽろ駅10番出口徒歩約4分

## 道議会 web サイトについて

議会中継・録画、傍聴・見学のご案内など  
URL: <http://www.gikai.pref.hokkaido.lg.jp/>

## 紙面への意見、要望や道議会への問い合わせ

メール: [gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp)  
電話: 011-204-5691

みんなの道議会のバックナンバーについて: 最新号やバックナンバーについては道議会webサイトに公開しています。

編集発行: 北海道議会 発行日: 令和2年(2020年)12月10日

## みんなの道議会 No. 15



Web: 北海道議会

Twitter: @hokkaidogikai

## ダンプレ ~ Dance &amp; Play !! ~



令和2年9月8日、第3回定例会の初日に感染症対策を行いながら、第47回北海道議会議場コンサートを開催しました。北海道札幌国際情報高等学校吹奏楽部による、踊りながら演奏をする「ダンプレ(ダンス&プレイ)」が披露されました。

## 今号の主な内容

- 2ページ: 令和2年第3回定例会の概要や議決状況について
- 3ページ: 道議会キーワード、高校生×道議会 ~北海道当別高等学校~
- 4ページ: インターンシップ生が考える北海道の課題